

猫の踊り場

＊増え続ける猫とその対策＊

踊る猫の伝説

かつて戸塚の醤油屋で、夜になると手拭が一本ずつなくなることがあった。ある夜、醤油屋の主人が出かけると、人のいないはずの場所から賑やかな音楽が聞こえてきた。見ると、そこには何匹もの猫たちが集まり、その中心では主人の飼い猫が手拭をかぶって踊っていたのだ。主人は手拭がなくなるのは猫の仕業だったのかと納得したという。猫の踊っていた場所は「踊り場」と呼ばれ、現在も駅名や地名として残されている。



踊り場の課題

踊り場駅周辺では野良猫が繁殖し、近隣住民の敷地内でふん尿をする、車などで爪とぎをする、花壇を荒らすなどして問題になっている。野良猫が集まると、猫の喧嘩による怪我や交通事故が起こる確率が高くなってしまいます。野良猫が繁殖している原因としては、飼い主が猫を捨てたり、不妊去勢手術をしていない猫を屋外で飼育したりしていることが考えられる。

野良猫対策

地域住民と飼い主のいない猫との共生をめざし不妊去勢手術を行ったり、新しい飼い主を探して飼い猫にしていくことで、将来的に飼い主のいない猫をなくすことを目標とした「地域猫活動」をしている地域もある。踊り場でも「地域猫活動」のような野良猫によるトラブルをなくすための試みを始めるべきだと考える。

